

故障診断と処理

日頃の点検整備を確実に行うことは、故障を未然に防ぐことになります。必ず定期的な点検、整備を行います。また、小さな故障でも発生したときは、大きな故障にならないよう早期に処理します。もし、次のような故障が発生したときは、表に従って点検・処理を行います。ご自分で修理できないときや、本表の処理で直らないとき、故障箇所がわからないときは、最寄りの弊社サービス工場へご連絡ください。



アドバイス／処理欄の◎は修理・調整が必要ですので、最寄りの弊社サービス工場へご連絡ください。

現象	原因	処置
作動しない	●バッテリー	
	バッテリー上がり	充電するか、交換する
	バッテリー端子にはずれ、ゆるみ、腐食がある	腐食部を修正してから確実に締め付ける
	●配線経路	
	短絡(ショート)	◎
	ヒューズが切れている	MEGAヒューズ175Aを交換する
	接続部の緩み	確実に締め付ける
	接続部が外れている	正規に接続し確実に締め付ける
	断線	◎
	●機器	
	操作スイッチの機能不良	◎
	操作スイッチの接続不良	接続部を清掃する
	モーター不良	◎
	ポンプが異物をかみ込み破損	◎
	●操作取り扱い	
ルーフメインスイッチが「OFF」になっている	ルーフメインスイッチを「ON」にする	
モーターは回るが作動しない	●油圧ユニット	
	吸入管系にエアアが混入	◎
	吸入経路の目詰まり	◎
	ポンプ本体の不良	◎
	ポンプ、ジョイントの破損	◎
	ポンプ、ジョイントの外れ	◎
	●オイル	
	オイル粘度が高く、吸い込み不良	◎
	オイル量の不足	規定量まで補給する
	●配管経路	
	締め付け不良によるオイル漏れ	◎
	配管破損によるオイル漏れ	◎
	●機器	
	シリンダーの不良	◎
	シリンダーのオイル漏れ	◎
バルブ類が故障している	◎	
	●油圧ユニット	
	吸入管にエアアが混入	◎
	モーターの性能低下	◎

作 動 が 不 良	モーターは回るが作動が遅い	●配管系統	
		締付不良によるオイル漏れ	◎
		配管破損によるオイル漏れ	◎
		●機器	
		シリンダー不良	◎
		バルブ類が故障している	◎
		●バッテリー	
	性能低下	充電するか交換する	
作 動 が 不 良	振動および異音発生	●パワーユニット	
		ポンプ本体の不良	◎
		ポンプ、モーター等の結合部の緩み	◎
		ポンプ、シャフトパッキングからエアが混入	◎
		オイル中に気泡がある	◎
		オイル粘度が高い	◎
		オイル量の不足	規定量まで補給
作 動 が 不 良	油圧ポンプの異常発熱	●パワーユニット	
		オイルの粘度低下	◎
		パッキン、バルブの摩耗	◎
		調整圧力不良	◎
作 動 が 不 良	作動が円滑でない	オイルの粘度が不適當	◎
		ポンプ温度上昇によるポンプ効率の低下	1時間程度使用を中止し、自然に冷却する
		オイル量の不足	規定量まで補給する
		エアが混入している	◎
		バルブが異物をかみ込んでいる	◎
		蝶番部の錆び付きなど	給脂する
		オイル流量調整が不適切	◎
自 然 降 下	自然降下	エアが混入している	◎
		逆止弁の不良	◎
		バルブ等の当たり不良	◎
上 昇 不 良	上昇不良	モーターの過熱	1時間程度使用を中止し、自然に冷却する
		モーター不良による焼き付き、断線	◎
ル ー フ の 作 動 が 不 良	ルーフ上昇または下降中に異音が発生する	給脂が不十分	給脂する
		摺動部に異物をかみ込んでいる	異物を除去し清掃する
		ボディの曲がり、反り	◎
		回転部、摺動部のガタ	◎
		ボルト、ナット等の緩み	◎
		溶接のハガレ	◎
		蝶番部の油切れ	給脂する
ル ー フ 片 側 の 前 後 い ず れ か が 上 が り に く い	ルーフ片側の前後いずれかが上がりにくい	防水ゴムが張り付いている	防水ゴムへ薄くグリース塗布
		配管経路の異常	◎
左 右 ル ー フ の 下 降 速 度 が 違 う	左右ルーフの下降速度が違う	流量調整弁の調整不良	◎